

2010年度

|  |  |     |       |
|--|--|-----|-------|
| 科目名  | 文化財学外書講読Ⅱ  |     |       |
| 担当教員   | 犬木 努   |     |       |
| 配当   | 文修1・文博1  | コード | 42530 |
| 開期   | 通年   | 講時  | 木曜日2限 |
|  |  | 単位数 | 4     |
| 授業テーマ  | 英語圏の原書講読を通じて、諸外国(主に英語圏)の考古学を学び、日本考古学を深める手がかりとする  |     |       |
| 目的と概要  | 欧米の考古学関連書を輪読し、諸外国の考古学の方法論や分析手法についての基礎的な知識を習得するとともに、日本考古学の現状を考える手がかりとする。外書を読むだけでなく、関連テーマの日本語文献も併読し、両者を比較検討していく。 |     |       |
| 成績評価法  | (1)授業時の英文和訳のでき具合、(2)授業時の発表内容、(3)レポート・試験の成績などを総合して評価する。   |     |       |
| テキスト   | 授業時にプリント(テキスト)を配布する。<br>原則として『プログレッシブ英和中辞典』小学館を購入・使用のこと(※下記辞書であれば代替可)。   |     |       |
| 参考書  | 授業中に適宜指示する。  |     |       |
| 履修に当たっての注意・助言  | 『プログレッシブ英和中辞典』を購入し、毎回持参のこと。ただし、同レベルの辞書(旺文社『新英和中辞典』、三省堂『グランドコンサイス英和辞典』)であれば代替可。なお、電子辞書の持ち込みは認めない。               |     |       |
| 講義計画   |  |     |       |
| <p>(1) 下記書籍を読み進めていく。<br/>Colin Renfrew &amp; Paul Bahn編, Archaeology The Key Concepts</p> <p>(2) 欧米考古学に関連する日本語文献を精読する。</p> <p>(3) 各自の専門テーマに即して、(1) (2)に関連するテーマで発表してもらい、議論を深める。</p> <p>※内容の一部変更の場合あり。履修生の希望があれば、これ以外の書籍を用いる場合もある。</p> |  |     |       |